

武士と騎士



[武士と騎士 下载链接1](#)

著者:小島道裕 編

出版者:思文閣

出版时间:2010-4

装帧:精装

isbn:9784784215072

武士と騎士の比較は比較史の中ではポピュラーなテーマといえよう。しかし、日欧の研究者が、お互いの研究を持ち寄り突き合わせるという機会は稀である。本書は人間文化研究機構連携研究「武士関係資料の総合化」の一環として、日仏で行われた国際シンポジウムの成果。具体的な資料に基づき、多様な側面から武士と騎士をとりあげた論考19本を収録。

作者介绍:

目录: I 領主と武力
城と領主権 (エリック・ブルナゼル・パリ第2大学／渡辺節夫訳)
西欧中世における貴族・騎士と封建制——中世中期フランスを中心に—— (渡辺節夫・青山学院大学)
中世ヨーロッパにおける騎士と弓矢 (堀越宏一・東洋大学)

日欧甲冑比較論序説（近藤好和・國學院大学ほか非常勤）
出陣図屏風に描かれた近世軍制——秋月黒田家『島原陣図屏風』をめぐって——（笠谷和比古・国際日本文化研究センター）
II 城の形と機能
中世における城——諸空間の建築的構造、日常生活——
（アンヌ-マリ・フランバール・エリシェ・元カン大学／青山由美子・日本大学非常勤 訳）
中世における西欧地中海沿岸地方における農村部の城と定住
（エチエンヌ・ユベール・国立社会科学高等研究院／堀越宏一訳）
日本中世における城と領主権力の二面性——権力の場としての城と民衆——（井原今朝男・国立歴史民俗博物館）
日欧城郭比較論——城郭プランの普遍性——（千田嘉博・奈良大学）
III 資料とイメージ
城における領主を描いた中世の図像（ペリーヌ・マヌ・歴史研究センターCNRS／堀越宏一訳）
洛中洛外図屏風と描かれた公武関係——武士と「武士関係資料」のありかたをめぐって——（小島道裕・国立歴史民俗博物館）
頼朝のイメージと徳川将軍（大久保純一・国立歴史民俗博物館）
日本中世における「武家文書」の確立過程とその諸相（高橋一樹・国立歴史民俗博物館）
中・近世武家書札礼の文化史——記号の概観——
（マルクス・リュッターマン・国際日本文化研究センター）
IV 理念と言説
近世武家の年中儀礼と言説（大友一雄・国文学研究資料館）
旧幕臣と武士道——武士から兵士へ——（岩淵令治・国立歴史民俗博物館）
「武士道」研究の現在——歴史的語彙と概念をめぐって——
佐伯真一・青山学院大学）
資源化される歴史——戦国武将と創出される都市祭礼／戦国武将と伝承される民俗芸能——（新谷尚紀・国立歴史民俗博物館）
中世を比較する——日本と西欧——
（M・コラルデル・元ヨーロッパ地中海文明博物館／P・スイリ・ジュネーブ大学／青山由美子訳）
・ ・ ・ ・ ・ [\(收起\)](#)

[武士と騎士 下载链接1](#)

标签

武士

日本史

騎士

感兴趣

史學

历史

中世紀

评论

[武士と騎士 下载链接1](#)

书评

[武士と騎士 下载链接1](#)